



四季 第10号(2学期終業式) ～四中の季節～

教育目標 ●自分で考え進んで実践する人間 ●公共心に富み情操豊かな人間
●勤労を尊び責任を重んじる人間 ●健康でたくましい人間

『生きているということ』 それは…『繋がるということ』

校長 関 勝 志

日本を代表する詩人である谷川俊太郎さんが、今年の11月に92歳で天寿を全うされました。谷川さんの詩の魅力は、シンプルで分かりやすく心に響く言葉です。日常の何気ない瞬間や、自然との触れ合いを通して、命や平和、生きる喜びを綴っています。

合唱コンクールで3年D組が歌った「信じる」の作詞も谷川さんです。他にも、アニメ「鉄腕アトム」の主題歌の作詞や、スヌーピーが登場するアメリカのコミック「ピーナッツ」の翻訳など、多くの作品を残しています。また、小学校や中学校、高校の校歌も数多く作詞されています。

谷川さんの作品の中に「生きる」という詩があります。

生きているということ いま生きているということ
それはのどがかわくということ 木もれ陽がまぶしいということ ぶっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみをする事 あなたと手をつなぐこと

生きているということ いま生きているということ
それはミニスカート それはプラネタリウム それはヨハン・シュトラウス それはピカソ それはアルプス
すべての美しいものに出会うということ
そして かくされた悪を注意深くこぼむこと

生きているということ いま生きているということ
泣けるということ 笑えるということ 怒れるということ 自由ということ

生きているということ いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ いま地球が廻っているということ いまどこかで産声があがるということ
いまどこかで兵士が傷つくということ いまぶんこがゆれているということ いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ いま生きているということ
鳥ははばたくということ 海はとどろくということ かたつむりははうということ 人は愛するということ
あなたの手のぬくみ いのちということ

「いま生きているということ」の後に続く言葉を自分なりに考えてみました。頭に浮かんだのは「いま生きているということ それは繋がるということ」でした。

2学期を振り返ると、繋がりを感じる場面をたくさん目にしました。日常の学校生活におけるクラスや部活動、生徒会活動、行事などでの繋がりだけでなく、校外での繋がりもたくさんありました。

青少年のイベントには、未就学のこどもから、小学生、中学生、高校生、大学生、おとなまで、様々な年代の人たちが集まり、笑顔があふれていました。その姿に「生きている」ということを強く感じました。そんな中で演劇部や陸上部、有志の四中生、卒業生が活躍しているということがとてもうれしかったです。

吹奏楽部とダンス部は、地域のイベントに参加したり、保育園を訪問したりして、地域のおとなもとても楽しませ、幸せを届けました。

玉川上水の落ち葉掃きには、ソフトテニス部、卓球部、演劇部、吹奏楽部、女子バスケット部、野球部の生徒約100名が参加し、きれいで安全安心な地域づくりに貢献しました。

四中生徒会と四中校区の小学校児童会が合同で行った「生徒会サミット」や「あいさつウィーク」は、四中の歴史にはなかった新しい繋がりです。

これからも地域との「繋がり」を大切に、さらに広げていってほしいと思います。

年末やお正月は、普段あまり繋がることのない人とも繋がることのできる機会でもあります。神社にお参りし心をこめてご挨拶すれば、神様とも繋がることのできるのではないのでしょうか。

保護者や地域の皆様には、今年一年間大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

■生徒の活躍■

「税についての作文」 3A 窪田悠希 小平市教育委員会 教育長賞
3B 松村祐京 小平市租税教育推進協議会 会長賞

「税の標語」 2B 武富莉子 一般社団法人東村山青色申告会 会長賞
2B 渡部 奏 東京国税局間税会連合会 入選

<陸上競技部> 第62回秋季小平市陸上競技大会
中学男子 800m 1位 佐藤正崇
100m 2位 加藤大翔
中学女子 100m 1位 藤井日菜乃

<ソフトテニス部> 冬季中学生ソフトテニス大会(第62回小平市民スポーツ祭)
個人戦 女子の部1年生 優勝 鈴木・廣井
個人戦 女子の部2年生 準優勝 宮澤・西巻 3位 今村・島崎

